

神奈川県のアレルギー疾患対策に係る取組状況等

(1)施策	(2)令和2年度取組予定	(3)令和元年度内容・実績	(4)所管
1 (1) 啓発及び知識の普及	①ホームページによる情報提供 ②リーフレット作成・配布 (市町村等を通じて配布) ③講演会の開催	①ホームページによる情報提供 ②リーフレット配布(県内33市町村) 「アレルギー疾患の基礎知識」 (中止) アレルギー疾患対策講演会開催 「こどものアレルギー」 (令和2年2月29日予定)	健康医療局
	出前講座 「食物アレルギーについて」 「ダニとアレルゲン対策」	出張講演 「健康食品と食物アレルギー」 (対象：県民 1回 参加者22人) 出前講座 「ダニとアレルゲン対策」 (対象：県民 1回 参加者50人)	
1 (2) アレルゲン等を軽減するための取組み	食品事業者に対するアレルギー表示に関する相談、指導等	食品事業者に対するアレルギー表示に関する相談・指導等	健康医療局
	加工食品のアレルゲン検査 (乳の表示のない食品20品目)	加工食品20品目中の乳アレルゲンの検査を実施した。品目は以下のとおり。検査結果は代替表記のあった1検体を除き、いずれも定量限界値 $1\mu\text{g/g}$ 未満であり、乳アレルゲンは検出されなかった。 <各種加工食品> 容器包装詰加圧加熱殺菌食品2品目(カレー等)、その他の菓子3品目(ビスケット等)、そうざい1品目(サラダ)、包装後加熱食肉製品1品目(ハンバーグ)、清涼飲料水4品目(コーヒータン等)、その他の食品6品目(ドレッシング、カレールー等)、めん類1品目(やきそば)、缶詰1品目、弁当1品目	

(1) 施策	(2) 令和2年度取組予定	(3) 令和元年度内容・実績	(4) 所管
1 (2) アレルギー等を軽減するための取組み	<p>スギ・ヒノキの着花量調査、花粉飛散量の調査と県民への情報提供</p> <p>ヒノキの花粉飛散量の調査予測手法の検討</p>	<p>小田原市久野のヒノキ林の雄花量調査、スギ採種園（2か所）、ヒノキ採種園の雄花量着花調査を実施</p> <p>①県内スギ林の着花量調査を行い、結果を知事会見で発表（12月16日実施。令和2年春のスギ花粉飛散量はやや多い。）</p> <p>②県内ヒノキ林の着花量調査を行い、結果を記者発表（1月16日実施。令和2年春のヒノキ花粉飛散量は少ない。）</p>	環境農政局
	<p>①県有林において、花粉発生源となっているスギ・ヒノキの伐倒・搬出等を行うとともに、花粉症対策苗木の植栽を行う。</p> <p>②花粉の少ないスギの着花促進と林業用種子の安定確保</p> <p>③小花粉スギ・ヒノキ及び無花粉スギの優良品種検証</p> <p>④県内では初めて花粉飛散を抑制するシドウイア菌を発見</p>	<p>①花粉発生源となっているヒノキ林の伐採・搬出・植栽等 4.15ha</p> <p>②小花粉及び無花粉スギ、花粉の少ないヒノキの種子生産を実施</p> <p>③無花粉ヒノキ選抜のための自殖試験を実施</p> <p>④菌類を活用したスギ花粉飛散防止技術の開発</p>	
	<p>①自動車からの窒素酸化物及び粒子状物質の排出量算定調査及び交差点近傍における大気汚染状況の簡易測定</p> <p>②微小粒子状物質の発生源解析や生成機構の解明に向けて、成分分析の調査委託、分析機器のリース設置</p> <p>③ディーゼル規制に係る検査・指導、制度周知等</p> <p>自動車NOx・PM総量削減計画の進行政管理</p>	<p>①自動車からの窒素酸化物及び粒子状物質の排出量算定調査及び交差点近傍における大気汚染状況の簡易測定</p> <p>②微小粒子状物質の発生源解析や生成機構の解明に向けて、成分分析の調査委託、分析機器のリース設置</p> <p>③ディーゼル規制に係る検査・指導、制度周知等</p> <p>自動車NOx・PM総量削減計画の進行政管理</p>	

(1) 施策		(2) 令和2年度取組予定	(3) 令和元年度内容・実績	(4) 所管
1 (2) アレルギー等を軽減するための取組み	大気環境対策	①大気汚染物質を常時監視するため、大気汚染監視用機器及び大気環境測定局舎の更新、保守管理、修繕 ②微小粒子状物質等を常時監視するため、大気汚染監視用機器のリース設置	①大気汚染物質を常時監視するため、大気汚染監視用機器及び大気環境測定局舎の更新、保守管理、修繕 ②微小粒子状物質等を常時監視するため、大気汚染監視用機器のリース設置 (更新実績) ・二酸化硫黄自動測定機3台 ・微小粒子状物質自動測定器2台 ・オキシダント6台 ・窒素酸化物自動測定器5台 ・気象計3台 (リース実績) ・微小粒子状物質自動測定機11台	環境農政局
1 (3) 生活スタイル改善のための取組		①卒煙(禁煙)サポート その他に相談、教室等を実施 ②未成年者の喫煙防止対策 ③受動喫煙の防止 事業者指導等	①卒煙サポートセミナー・連絡会 2回 参加者62人 かながわ卒煙塾 6回 各保健福祉事務所における相談、企業等での教室、関係者への研修 ②未成年者の喫煙防止のための児童、中・高・大学生向けリーフレットの配布 高校への禁煙教育の講師派遣 ③受動喫煙防止条例の周知徹底 事業者戸別訪問 県民向けイベント実施	健康医療局
2 医療を提供する体制の整備		「神奈川県アレルギー疾患対策推進協議会」における対策の検討 (全2回予定)	「神奈川県アレルギー疾患対策推進協議会」の開催 (第1回 7月開催・第2回 3月書面開催)	健康医療局

(1) 施策	(2) 令和2年度取組予定	(3) 令和元年度内容・実績	(4) 所管
3 (1) 患者に関わる者の 人材育成	①食物アレルギー・緊急時対応研修 （4回予定） ②アレルギー疾患患者等支援者研修 （2回予定） ③小児保健研修（1回予定）	①食物アレルギー・緊急時対応研修 全4回 参加者 597名 ②アレルギー疾患患者等支援者研修 「アレルギー疾患の知識と災害時の 備え」 全1回 参加者 139名 （3月6日計画の2回目中止） ③小児保健研修 「こどもの食物アレルギー 乳幼児のスキンケア」 全1回 参加者 54名	健康医療局
	保育エキスパート等研修 食育・アレルギー対応研修（研修全 8分野のうちの1つ）（6回予定）	保育エキスパート研修 食育・アレルギー対応研修 全6回 修了者 集計中	みらい局 子ども
	①食物アレルギー・緊急時対応研修 （2回予定） ②新採用学校栄養職員研修 （2回予定） ③学校栄養職員経験者研修 （1回予定） ④校内研修用エピペントレーナー等貸 出 ⑤食物アレルギー・緊急時対応マニ ュアル作成 ⑥ホームページによる情報提供	①食物アレルギー・緊急時対応研修 対象：幼・小・中・高・中等・特別 支援学校の教職員、学校保健関係者 等 全2回 参加者 計504人 ②新採用学校栄養職員研修 「学校給食におけるアレルギー対 応」 全2回 参加者 17人 ③学校栄養職員経験者研修 「食物アレルギーの対応について」 1回 参加者 66人 ④研修用エピペントレーナー等貸出 貸出先数 54、貸出本数 938本 ⑤食物アレルギー・緊急時対応マニ ュアルを、県学校保健連合会と協力 し、1000部作成 ・食物アレルギー・緊急時対応研修 会、要望に基づき校内研修資料とし て配布 ⑥ホームページ掲載 ・学校における食物アレルギーへの対 応ページに、「食物アレルギー・緊 急時対応マニュアル」、「アナフィ ラキシー個別対応マニュアル（標準 例）改訂版」の掲載	教育局

(1) 施策	(2) 令和2年度取組予定	(3) 令和元年度内容・実績	(4) 所管
3 (3) 災害時の対応		(再掲) アレルギー疾患患者等の支援者研修 「アレルギー疾患の知識と災害時の 備え」 全1回 参加者 139名	健康 医療局
その他	指定研究の実施 「FRET バイオセンサーを用いた食物 アレルギー試験法の開発」 アレルギー担当細胞であるマスト細胞は、細胞内にアレルギー原因物質を内包している。抗原と IgE を介して IgE 受容体が架橋されると、マスト細胞からアレルギー原因物質が放出され、アレルギー症状が引き起こされることになる。本研究では、抗原と IgE を介した IgE 受容体の架橋形成を蛍光で検出する系を構築し、食物アレルギー試験法への展開を試みる。	指定研究 「アレルギー免疫療法の奏功性予測のための新規評価系の確立」 アレルギー免疫療法の奏効性予測のための新規評価系確立を目指し、その有用性を他の評価法と比較することを目的としている。 平成30年度までの研究にて作製した新規培養細胞株について、市販のアレルギー患者血清を用いて応答性を検討した結果、従来の培養細胞よりも良好な応答性が得られたことから、その有用性が確認された。	健康 医療局